

(6) 配付棚の活用

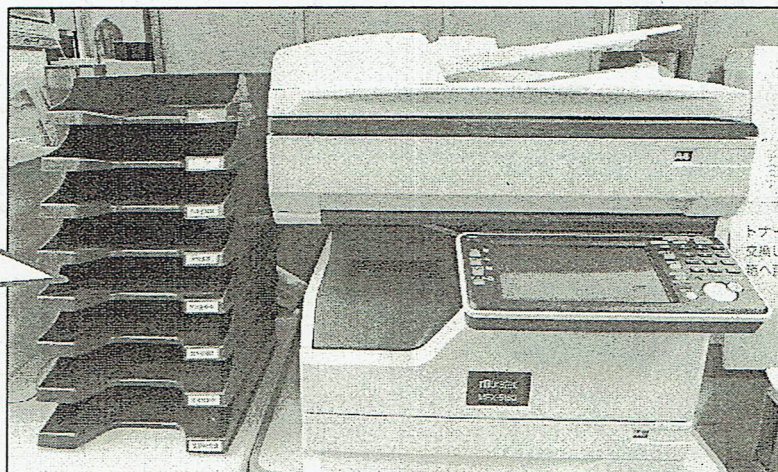
この学校には、教職員一人一人にプリントなどを配付するための配付棚があります。また、配付棚の近くには、印刷機を設置しています。このことによって、全家庭へのお知らせを各学級に配付するときや全教職員にプリントを配付するときなど、スムーズに作業を行うことができます。職員室のレイアウトを工夫することも、学校業務の改善につながります。



- ① 情報を提供する教職員は、配付作業の時間を短縮することができます。
- ② 情報を提供される教職員は、机上のプリントなどと混在することなく、自分が必要とするときに、まとめて情報に目を通すことができ、認識しやすくなります。

【参考】教育委員会で活用しているFAX用の各課の棚

トレーを重ねた簡易的な棚を使っています。



3 参考資料

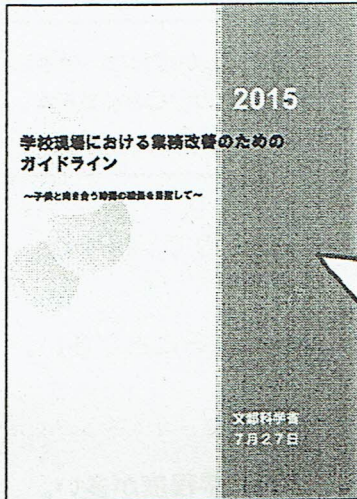
【文部科学省のホームページ】

トップ>教育>小学校、中学校、高等学校

>学校における業務改善について

http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/uneishien/1297093.htm

(1) 働き方改革に関する国の動向について



「学校現場における業務改善のためのガイドライン」

平成 27 年 7 月 27 日 文部科学省

【業務改善の基本的な考え方と改善の方向性】

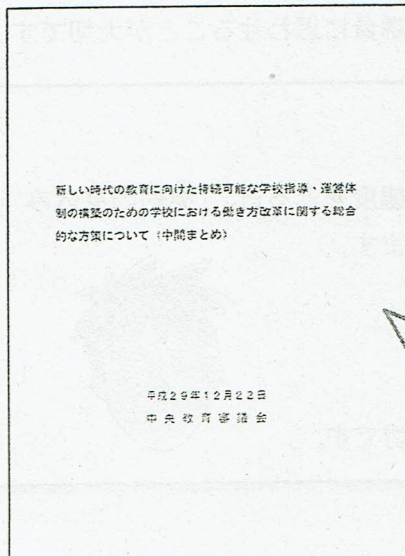
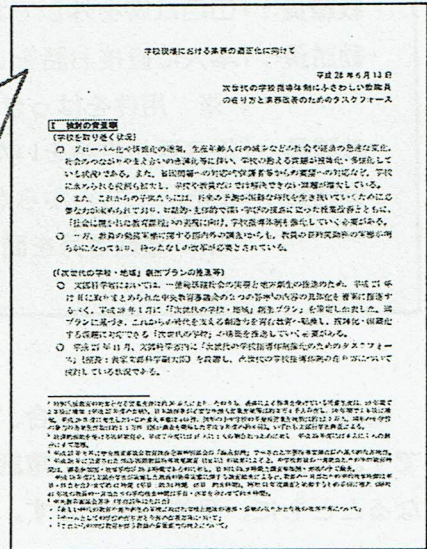
- ① 校長のリーダーシップによる学校の組織的マネジメント
- ② 教員と事務職員等との役割分担など組織としての学校づくり
- ③ 校務の効率化・情報化による仕事のしやすい環境づくり
- ④ 地域との共同の推進による学校を応援・支援する体制づくり
- ⑤ 教育委員会による率先した学校サポートの体制づくり

「学校現場における業務の適正化について」

平成 28 年 6 月 13 日 文部科学省内 タスクフォース

【改革に向けた基本的な考え方と重点的に講ずべき改善方策】

- ① 教員の担うべき業務に専念できる環境を確保する
- ② 教員の部活動における負担を大胆に軽減する
- ③ 長時間労働という働き方を見直す
 - ・ 長時間労働を是正し、勤務時間管理の適正化を推進
 - ・ 教員の勤務時間を的確に把握し、フォローアップを推進
 - ・ 教職員の意識改革と学校マネジメントを推進
 - ・ 教職員のメンタルヘルス対策を推進
- ④ 国、教育委員会の支援体制を強化する



「学校における働き方改革に関する総合的な方策について（中間まとめ）」

平成 29 年 12 月 22 日 中央教育審議会

【（中間まとめ）の内容】

- ① 「学校における働き方改革」の背景・意義
- ② 「学校における働き方改革」の基本的な考え方
- ③ 学校・教師が担う業務の明確化・適正化
- ④ 学校の組織運営体制の在り方
- ⑤ 勤務時間に関する意識改革と制度面の検討
- ⑥ 「学校における働き方改革」の実現に向けた環境整備

(2) 職場にかかってくる勧誘電話の対応について

勧誘電話の対応については、みんなで共通理解をし、協力して対応することが大切です。まず、勧誘電話であることを聞き分けて、相手が指名している教職員に取り次がないようにします。

◆ 勧誘電話における一般的な例 1

勧誘員：「〇〇とありますが、□□さんをお願いします。」

※ 会社名を名乗らないことが多い。

※ 複数名が一つの部屋の中で、同じような電話をかけているので、相手の電話の後ろがガヤガヤとしていることが多い。

※ ライフプランと称して、投資マンション(不動産)などの勧誘をすることが多い。

教職員：「どちらの〇〇さんでしょうか？」

勧誘員：「M◇Cの〇〇です。」

※ 社名として略称を名乗ることが多い。アルファベット3文字程度が多い。

教職員：「□□は席を外しておりますが、ご用件は何でしょうか？」

勧誘員：「本人に直接お話をします。」

※ 用件をはっきりと答えない場合が多い。

教職員：「折り返し電話をいたしますので、そちらの電話番号を教えてくださいませんか？」

勧誘員：「また、こちらからかけ直します。」

※ 電話番号を聞いても答えずに、すぐに電話を切る場合が多い。

名前だけしか言わない相手には、必ず「どちらの〇〇さんですか。」と聞き返しましょう。

勧誘電話がかかってきた場合、契約する気がなければ、短い時間ではっきりと断ることが大切です。また、何度も繰り返し電話がかかってきたり、強い語調で話をされたりすると、不愉快になるとともに、恐怖も覚えます。一人で対応するのではなく、学校として対応する必要があります。しつこい勧誘電話に対しては、違う人が電話に出るなど、みんなで協力をして対応をします。「この学校には隙がないので、電話をかけても無駄である。」と勧誘員に思わせることが大切です。

対応のポイント1

「今は忙しいから」や「工作中なので」などと、あいまいな態度をとると、「契約の見込みがある」と思われ、しつこい勧誘電話が続くことにもつながります。

はっきりと毅然とした態度で

- ① まったく興味がないので、お断りする。
- ② もう二度と勧誘電話をかけてこないでほしい。

ことをしっかり伝えることが大切です。



対応のポイント 2

- ① 勧誘電話は、なるべく短い時間で切る。

勧誘電話とわかった時点で、「お断りします。」と断りの意思を伝えて電話を切ります。相手が、こちらが電話を切ることを遮ろうとしても、電話を切ります。

- ② 勧誘員と会話をしない。

会話の時間が長いほど、契約の可能性があると思われます。世間話などから、個人情報を取得しようとしています。

- ③ 再び電話がかかってきたときも会話をしない。

「断る意思を伝えているのに、勧誘することは違法行為です。もう二度と電話をかけてこないでください。」と言って電話を切ります。さらに電話がかかってくるときには、違う人が電話にでて、同じことを伝えます。



対応のポイント 3

断っているにも関わらず、勧誘電話をかけてくる不動産業者(宅地建物取引業者)に対しては

- ① 商号または名称と勧誘を行った従業員の名前を確認した上で、宅地建物取引業法違反にあたる勧誘行為であることを指摘する。

- ③ 自分に対する勧誘行為を止めないと監督官庁(神奈川県や国土交通省)に相談する。

ことを警告することも必要です。

◆ 勧誘電話における一般的な例 2

勧誘員： — 省略 —

教職員：「お断りします。これで電話を切ります。」

～ すぐに、また電話がかかってくる。 ～

勧誘員：「いきなり電話を切るなんて、失礼じゃないですか。社会人失格ですね。」

教職員：「……………」

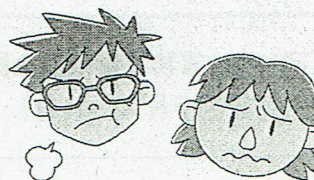
勧誘員：「何で説明を聞かないで、“関係ない。”と決めつけるのですか。失礼ですよ。」

教職員：「……………」

勧誘員：「ちゃんと人の話を聞いてくださいよ。」

教職員：「……………」

～ この後、電話を切らしてもらえず、延々と話が続いてしまう。 ～



電話を切られないように、切ったことを批判しながら、話を続けようとしています。「対応のポイント2」にあるように、意思をしっかりと伝えてすぐに電話を切るようにします。

さらに電話がかかってくる場合には、違う人が電話に出るようにします。

4 学校業務改善検討会議について

(1) 構成員名簿

No	氏名	所属等	No	氏名	所属等
1	坂庭 修	北下浦中学校 校長 [◎]	7	北川 貴章	教育指導課 主査指導主事
2	遠藤 誠司	根岸小学校 校長 [○]	8	吉野 哲生	支援教育課 主査指導主事
3	菅原 和子	豊島小学校 教頭	9	関口 満	教育研究所 主査指導主事
4	遠藤 直樹	長井中学校 教頭	10	鈴木 史洋	保健体育課 主査指導主事
5	山田 修	公郷小学校 総括事務主査	◇	山崎 亨	教育研究所 所長
6	桜井 紋	馬堀中学校 主任事務主事	◇	溝口 洋樹	教育指導課 主査指導主事
			◇	金子亜希子	支援教育課 主査指導主事

◎ … リーダー、 ○ … サブリーダー

◇ … 検討内容等によって、出席

事務局 … 総務課教育政策担当、教職員課

(2) 開催経過

開催日	検討内容
第1回 学校業務改善検討会議 平成 29 年 5 月 22 日(月)	・ 本会議の設置目的、検討する内容について
第2回 学校業務改善検討会議 平成 29 年 6 月 26 日(月)	・ 本市教育振興基本計画(第3期実施計画)の内容について ・ 教職員のタイムマネジメントの意識向上につながる方策について
第3回 学校業務改善検討会議 平成 29 年 8 月 31 日(木)	・ 教職員の勤務実態調査の結果について ・ 教職員のタイムマネジメントの意識向上につながる方策について
第4回 学校業務改善検討会議 平成 29 年 12 月 13 日(水)	・ 教職員のタイムマネジメントの意識向上につながる方策について ・ 検討した内容を周知する方法について

(事務局)

横須賀市教育委員会事務局 教育総務部

総務課 教育政策担当 ・ 教職員課

住所 〒238-8550 横須賀市小川町 11

TEL 046-822-9709 (教育政策担当) 046-822-8472 (教職員課)

FAX 046-822-6849 (教育委員会事務局 共通)

横須賀が好々!

